

こども環境学会2025（高知）

ここ
大事

多機関連携で自殺予防からの農福連携
～誰もが暮らしやすい地域を目指して～

R7.5.31 医療法人おくら会 芸西病院
公文一也

ノウ フク

農業と福祉がつながって、日本を元気に！



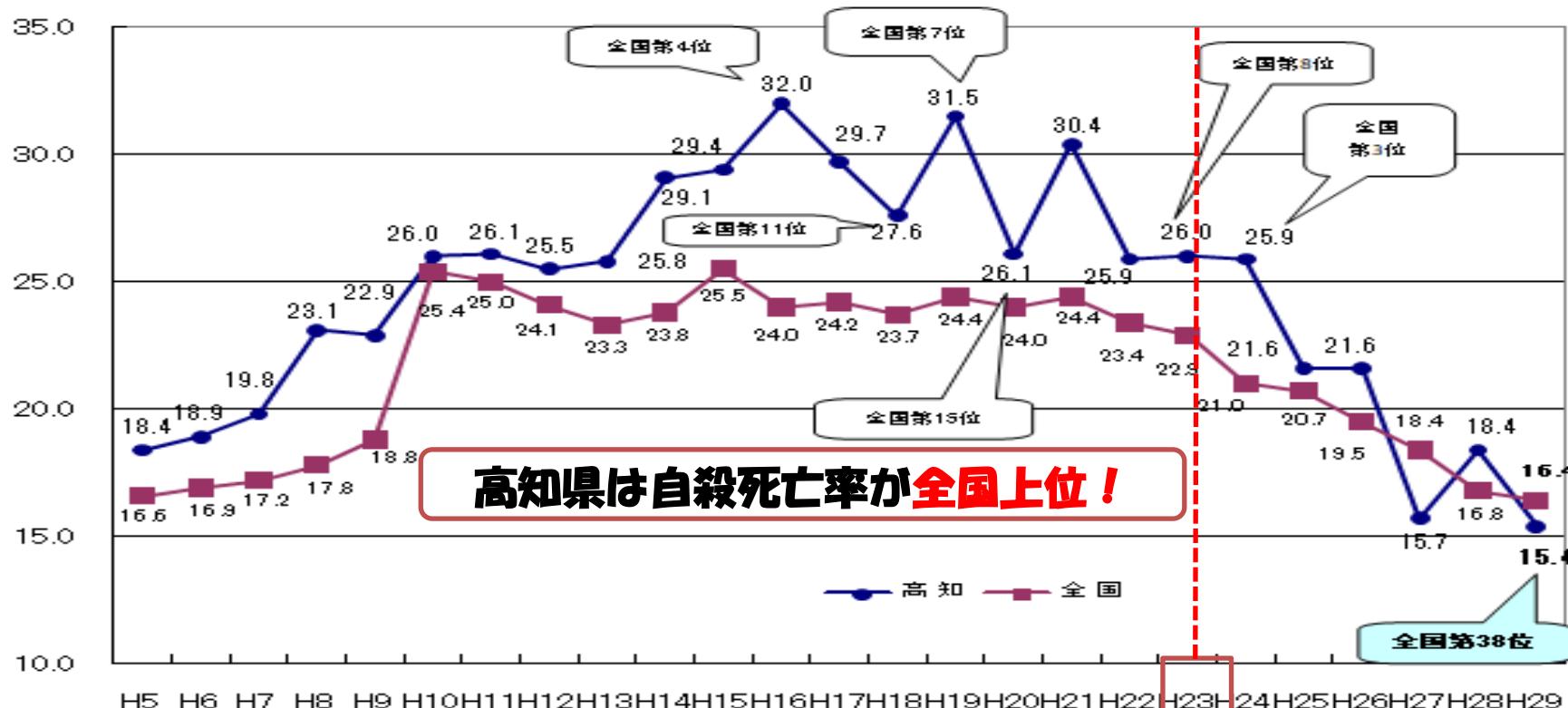
農福連携は自殺対策から



農福連携の始まりは自殺予防の取組から始まった！



自殺死亡率の推移（人口10万人あたり）課題は自殺者を減らすこと！



H23年 安芸県域の自殺率は県内で最も高い！

福祉保健所別の自殺死亡率の推移

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	平均
安芸福祉保健所	男	18	13	9	5	4	6	4	8.4
	自殺者数	4	2	4	4	0	0	2	2.3
	小計	22	15	13	9	4	6	6	10.7
	自殺死亡率	42.25	29.39	26	18.3	8.3	12.84	13.12	21.5
	(うち男性)	73.8	54.33	38.2	21.7	17.7	27.17	18.5	35.9
中央東福祉保健所	自殺死亡率	30.88	26.26	23.2	21.7	14.3	23.83	22.31	23.2
	(うち男性)	47.66	41.32	34.7	36.7	21.1	33.92	30.59	35.1
中央西福祉保健所	自殺死亡率	19.03	33.79	20.9	22.4	8.9	11.7	15.85	18.9
	(うち男性)	27.71	63.92	33.7	29	13.4	16.44	27.85	30.3
須崎福祉保健所	自殺死亡率	19.03	33.79	20.9	22.4	8.9	11.7	15.85	18.9
	(うち男性)	27.71	63.92	33.7	29	13.4	16.44	27.85	30.3
幡多福祉保健所	自殺死亡率	39.07	24.2	22.3	34	28.9	27.23	14.44	27.2
	(うち男性)	62.64	37.55	33.3	50.7	39.3	25.21	20.47	38.5
合計	自殺死亡率	26	25.9	21.6	21.6	15.7	18.4	15.4	20.7
	(うち男性)	40.8	43.3	32.4	31.6	25	25.2	21.95	31.5

※自殺死亡率は、国勢調査人口(日本人)と毎月の住民基本台帳集計値を基に、毎年10月1日時点で県健康政策部が 計算した人口推計値により算定。

安芸福祉保健所管内は、県内で最も高い自殺死亡率！

連携命

安芸地域のお仕事図（僕の仲間はみんなの仲間）

農福連携は自殺予防の取組の副産物である！

自殺未遂者相
談支援事業

未遂者発生

あき総合病院

☆各種問題に
対応する

各消防本部

安芸福祉保健所

多職種連携

各警察署

副産物

地域移行・定着

副産物

就労支援
農福連携

☆就労支援専門部会
☆農福連携研究会

市町村

ここから東部地域ネットワーク会議（自殺予防ネットワーク）

農家

サポステ

保護司会

精神科病院

自殺対策推進センター

就労継続支援事業所

刑務所

職安

訪問

スナック

商工会議所

電気屋

議員

当事者

包括

不動産屋

薬剤師会

安芸農業振興センター

相談支援事業所

炭焼

大学
病院

少年鑑別所

弁護士・司法書士

社協

お寺

JA高知県安芸地区

民生・児童委員

地域生活定着
支援センター

保護観察所

飲食店

断酒会

女相

東部教育事務所

安芸市内の高等学校

人権擁護委員

高松矯正管区

«参加機関相互の役割理解から本格的な自殺予防への取組み④»

＜ここから東部地域ネットワーク会議＞

開催年度	内 容（※各回事例検討・グループワークを開催）	参加機関
R5 年度	<p>R5年度</p> <p>①・高知県の自殺の現状と取組みについて 高知県障害保健支援課 　・安芸福祉保健所自殺未遂者相談支援事業の取組みについて 　・『県内のひきこもりの相談事例について』 高知県立精神保健福祉センター 武石氏 　・体験発表『不登校、ひきこもり、虐待を経験したわたしと居場所』</p> <p>②・それぞれの立場役割を理解する『高次脳機能障害について』 　・高次脳機能障害支援拠点センター青い空 津野氏 　・『お寺ができる自殺予防』 清水寺住職 真言宗智山派教区長 野島氏 　・講演『別海町から学ぶ自殺対策』 講師 札幌医科大学 主任教授 河西氏</p> <p>③・それぞれの立場役割を理解する『地域看護の可能性』 訪問看護Aiaru 小松氏 　・講演『SNSによってもたらされる社会的問題』 　～トラブルや犯罪に巻き込まれる子ども達の問題～ 　講師 高知区検察庁 檢事 徳田氏 副検事 簡井氏</p>	177名 (3回)
R6 年度	<p>R6.7.25開催予定</p> <p>①・高知県の自殺の現状と取組みについて 高知県障害保健支援課 　・安芸福祉保健所自殺未遂者相談支援事業の取組みについて 　・『ひきこもり地域支援センターの取り組みと県内のひきこもりの相談事例について』 　高知県立精神保健福祉センター 泉氏 　・体験発表『思春期、不登校、ひきこもり、依存症の当事者と家族への対応について』</p>	

ネットワーク会議の特徴

- 各機関の仕事の紹介
- 必ずグループワークを行い、各機関の顔と仕事を知る（顔の見える関係作り）



結果～仕事で連携できるようになる～

農と福祉がつながって、日本を元気に！

ノウフク

PROJECT

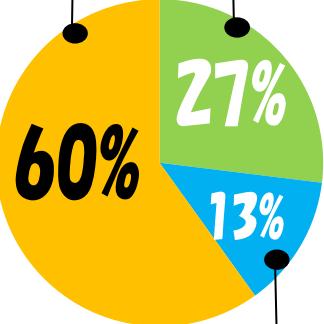
そんなことをしながら...
やってたことが農福連携だった

安芸市の農業

安芸市の産業

第3次産業

第1次産業



第2次産業

就業人口の割合

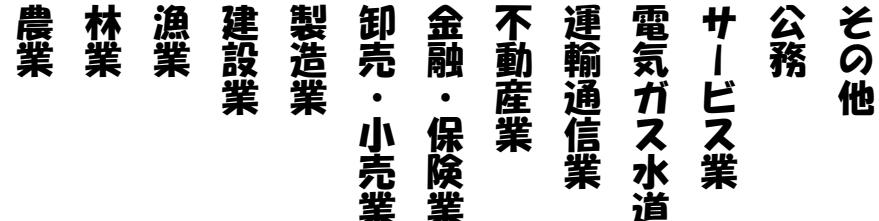


業種別割合

(人)

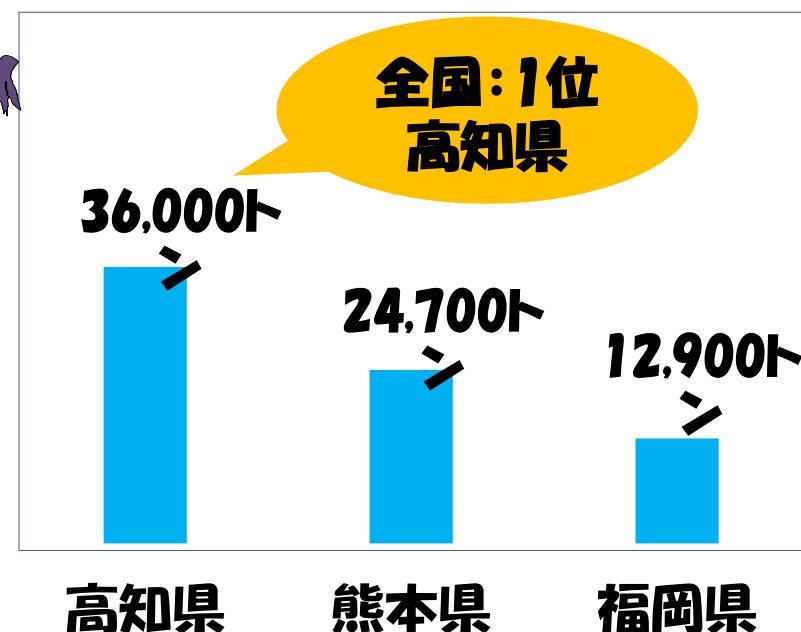
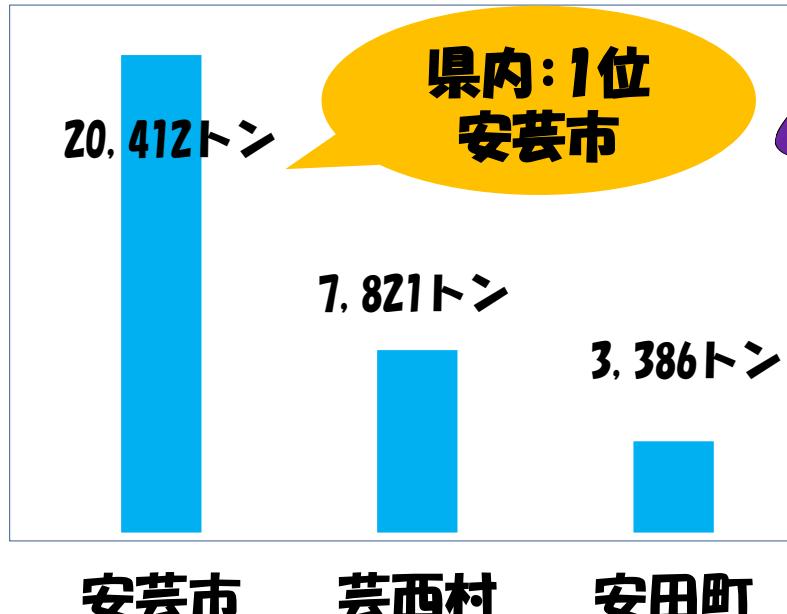
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0

全体の25%が
農業就業者



※平成27年国勢調査より

冬春ナスの収穫量(令和2年産)



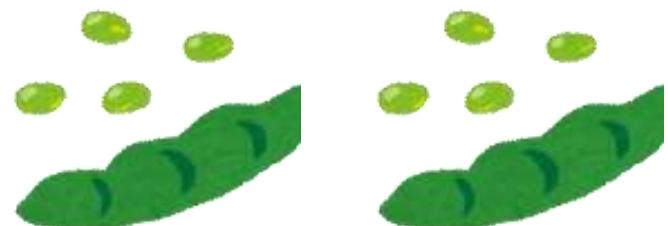
※高知県上位3市町村のみ掲載
(高知県農業振興部調べ)

※全国上位3県のみ掲載
農林水産省統計情報より

事例①H26年5月 安芸地域の農福連携が始まる 30代男性 10年ひきこもり 生活困窮



生活困窮の彼との出会い
所持金0円
道に生えているカラスのエンドウ
を食べて飢えをしのいでいた。
安芸市の保健師、社協の職員と農
園へつないだ
これが農福連携の始まりだった！



N君が農家で成功した理由

○作業がN君の特性に合った



○支援者も一緒に作業をした



○雇用主がN君の特性を必死で理解した



○雇用主との連絡体制の確立

○なんといっても賃金が貰えた

農福は本人も雇用主も支援者も地域も元気になる

袋詰めのプロ
統合失調症



集出荷場
労働時間の短縮



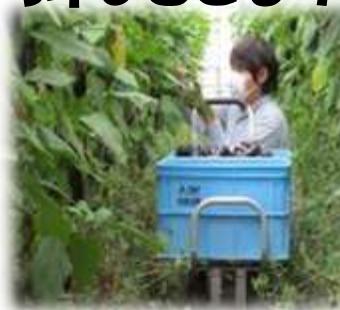
ハウスの
スペース
20年ひきこも
り



地域移行・定着
長期入院解消



ハウスの
規模拡大
3年ひきこもり



楽しい宴会
みんなで交流



雇用主も幸せ



平成29年就労者増加 協力農家11戸 就労者16人※組織間連携する必要となる！



H29年～組織を超えた農福連携



農福連携検討会を開催

(メンバー)

- 安芸市農林課・福祉事務所
- JA高知県安芸地区
- 安芸農業振興センター
- 安芸福祉保健所

(検討内容)

- 情報共有
- 課題についての検討



就労先の確保や定着支援には、官民の組織を超えた連携が必要であり、それこそが眞の農福連携であると気が付いた！

H29年12月 自立支援協議会の就労支援専門部会の発足（安芸市の就労支援）

相談者

どこかの支援機関に相談する

安芸福祉保健所

安芸社会福祉協議会

・あき総合病院
・芸西病院

障害者就業・生活
支援センター
ボラリス

ハローワーク
安芸

・安芸市福祉事務所
・安芸市農林課

なんこく若者
サポートステーション

就労支援専門部会

支援機関 の連携

農福連携

※障害の勉強・理解
農福連携高知県サミットinあき

【安芸市農福連携研究会】
・安芸市・ボラリス・サボステ・
こうち絆ファーム・土佐あき園芸
研究会・JA高知県安芸地区・農業
振興センター・安芸福祉保健所

経歴書（安芸市版）

（農業実習）
土佐あき園芸研究会

評価

直接就労

経歴書（安芸市版）

ナス等農家就労

農業就労ソポーター

JA高知県安芸地区
アグリサポート
農家を紹介

農業就労ソポーター

経歴書（安芸市版）

ナス等農家就労

通常支援継続

経歴書（安芸市版）

農業以外の仕事

施設外就労

B型・A型
移行

制度利用・就労体験

H30 ついに農業 (JA等) と福祉が手を組みます

農業サイド

農業分野での人手不足

福祉サイド

農業分野の就労先不足



困り事の解消に思惑が一致



平成30年5月安芸市農福連携研究会を設立



(設立目的)

- 安芸市がこれから将来にわたって農福連携を進めて行くために設立。
- 組織には人事異動が付きものであるが、人事異動があっても農福連携が進むように設立。

農福連携研究会とは？

★この研究会は農福連携を推進するために
地域に生きづらさの理解を広げていくための会

★参加機関：JA高知県安芸地区（会長）、安芸市農林課（事務局）、安芸市福祉事務所、
安芸市地域包括支援センター、障害者就業・生活支援センターポラリス、
サポステ、山田特別支援学校田野分校、こうち絆ファーム、安芸農業振興センター、
安芸福祉保健所（毎月1回開催）

（検討事項）

- 各機関の情報共有
- 就労へのマッチング
- 生きづらさや障害の理解の勉強会を開催
- 農福連携の普及・啓発事業の開催

（生きづらさ理解の研修会等の開催）

- ・H30年8月～はじめよう農福連携～講座
- ・R1年6月～農福連携高知県サミットinあき
- ・集荷場や各種農業の体験を実施（6名採用）
- ・R1年10月、JAが就労サポーターを雇用して障害者の就労定着強化を進める



R7年4月現在 協力農家34戸 就労者107名



相談者

どこかの支援機関に相談する

就労支援専門部会
(就労の直接支援)

- ・安芸市福祉事務所・安芸市農林課
- ・社協・ポラリス・ハローワーク
- ・サポステ・あき総合病院・芸西病院
- ・安芸福祉保健所



安芸市の課題解決

安芸市自立支援協議会

情報共有

- ・連携



相談者

どこかの支援機関に相談する

相談支援専門部会

(生活の自立を支える支援)

- ・安芸市・障害者支援センターあき
- ・ポラリス・ヒューマンネットワーク
- ・あき総合病院・安芸福祉保健所

支援

支援

農福連携

障害の勉強・理解の推進

【安芸市農福連携研究会】

(農福連携の政策を進める)

- ・安芸市・ポラリス・サポステ
- ・JA高知県安芸地区・農業振興センター・安芸福祉保健所

経歴書(安芸市版)

制度の利用
(お仕事体験)

ナス等農家就労



経歴書(安芸市版)

- ・B型・A型
- ・移行



通常支援継続

経歴書(安芸市版)

制度の利用
(お仕事体験)

農業以外の仕事



R7年4月現在

生きづらさ抱える方を支える農家や出荷場等

※働き方は違うがみんな定着している！

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ①東岡農園 (4名) | ②北村農園 (3名) | ⑨久市農園 |
| ③小松農園 (2名) | ④岡林農園 (2名) | ⑩西岡農園 |
| ⑤仙頭ファーム (1名) | ⑥岡林トシ農園 | ⑪公文農園 (1) |
| ⑦小松良二農園 (2名) | ⑧シーベジタブル (3名) | ⑫仙頭農園 |
| ⑨山崎農園 (1名) | ⑩川内農園 (1名) | ⑬小原農園 |
| ⑪輝農園 (3名) | ⑫高知国沢農園 (1名) | ⑭小松弘幸 (ミヨウガ) |
| ⑬長野農園 (4名) | ⑭安田出荷場 (1名) | |
| ⑯住原農園 | ⑯安芸出荷場 (5名) | |
| ⑮山崎隆農園 (1名) | ⑯赤野出荷場 (2名) | |
| ⑯千光士農園 (2名) | ⑰芸西村出荷場 (1名) | |
| ⑰土佐備長炭一 (2名) | ⑰こうち絆ファーム (55名) | |
| ⑱JA高知県あき地区 (1名) | ⑲福田園芸 | |
| ⑲公文農園 (1名) | ⑳松村農園 | |
| ⑳曾我牧場 (3名) | ㉑穴内出荷場 (1名) | ※受入可能農家+5=34箇所 |



計107名

就労定着支援の流れ

地域協議会（就労支援専門部会や農福連携研究会）の支援機関に相談が来る

↓必要な支援を整理する（住居、経済面、家族関係等）

地域協議会でマッチングケース会議を実施（月1回）

+連携先の関係機関は隨時就労のマッチングを行う

↓お仕事体験10日間（就労体験拠点設置事業）を活用

+JAの農業就労サポーターを活用

支援機関とサポーターが一緒に定着支援を開始

↓※サポーターは毎日同行支援（支援機関との情報共有は必ず行う）

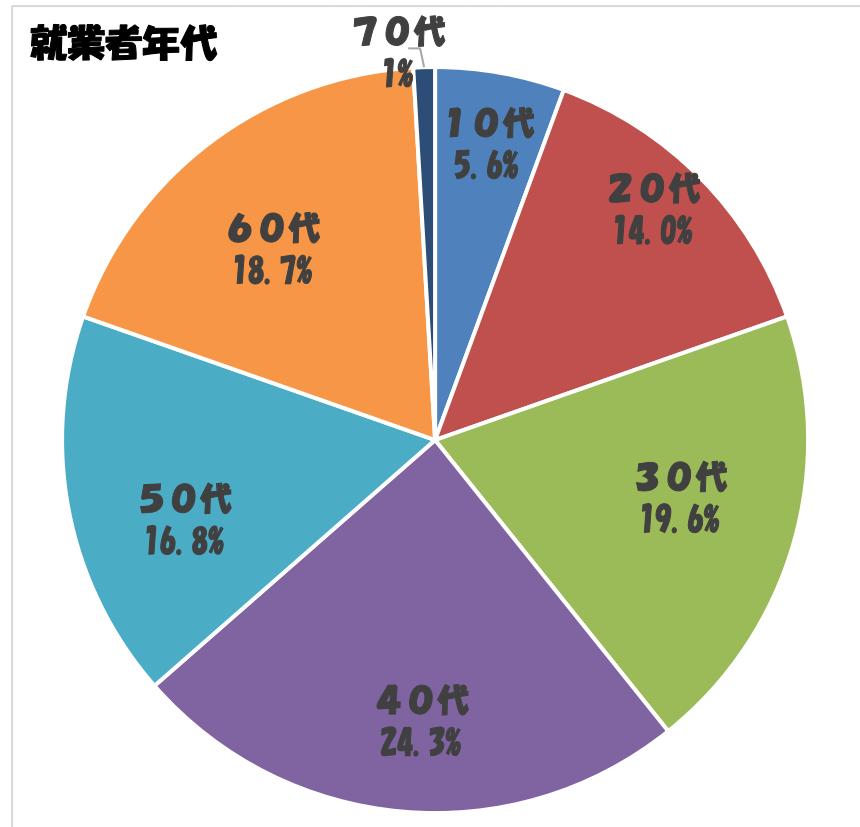
就労定着

※定着後もサポーターと支援機関は農家を訪問して農家と当事者の
フォローを行う

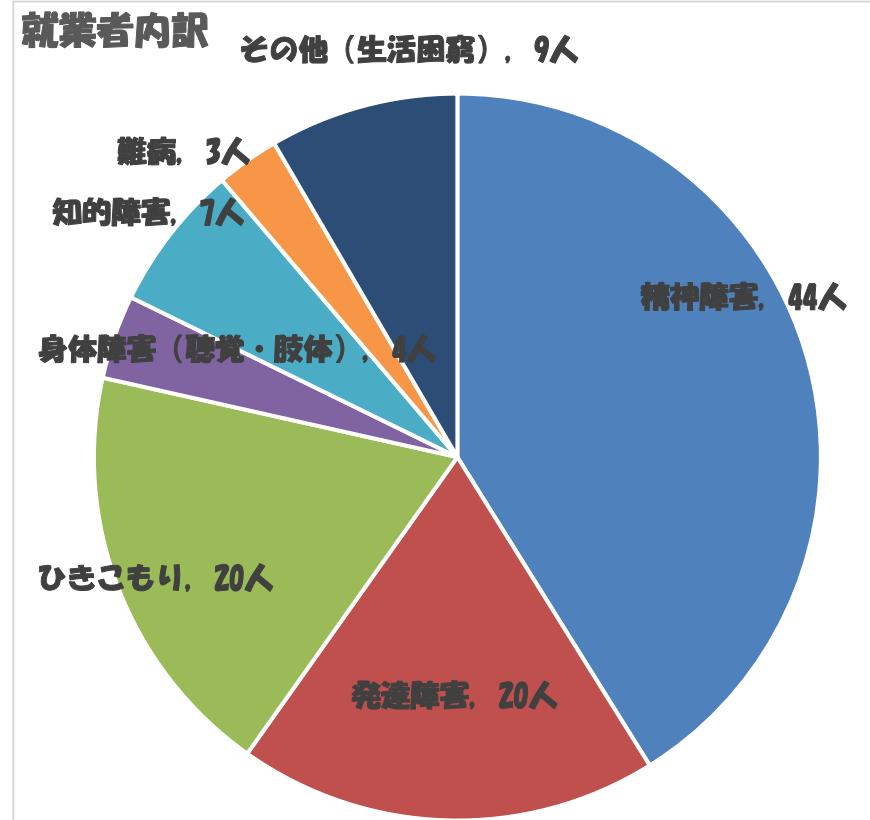


就労者の年代別・疾患別（107名内訳）

比較的若い年代が多い



様々な障害に対応している



R5



安芸地域の農福連携はさらに深化！
農+林+水+α連携へ



酪農でも農福連携



生きづらさの理解はでき
てます。

酪農で働きたい方はなる
べく受け入れますよ♪
一緒に仕事をしません
か？

農閑期のアルバイトも受
け入れますよ(^^)



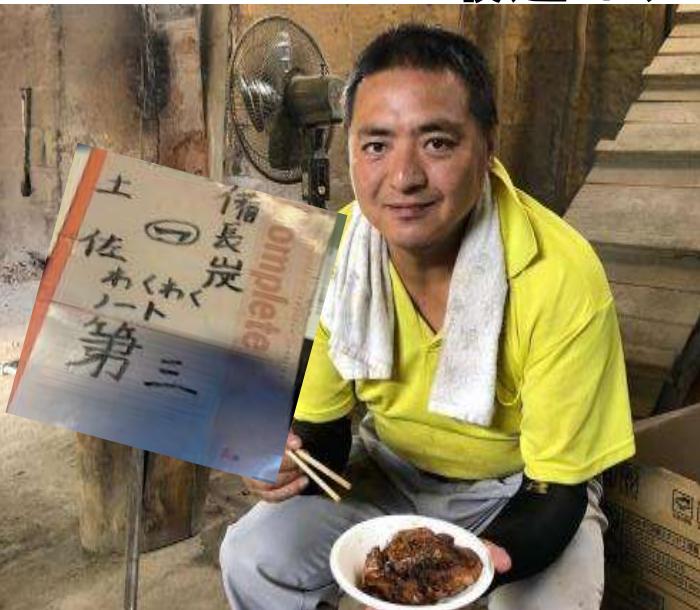
土佐備長炭一

最近は、農業以外の就労先が増えた



林福連携

社長
近藤寿幸



R1.4

高知市から移住した栄ちゃん！
R1.8 生活保護から脱却！
目標はとにかく家を買う！！！



僕の会社でも障害者雇用がしたい！ シーベジタブルが多くの人を救う！！

2年ひきこもりのMさんを6年ひきこもりのS君が指導して
見事就労定着する。統合失調症の妻も大喜び(*^o^*)
妻の自殺未遂の原因是この彼のひきこもりが原因だった！



1ヶ月のパート後、正社員となる！
現在、副施設長(*^o^*)

農家→建設会社→すじ青海苔の養殖

R2. 4. 1 多機能型事業所TEAMあき開所



一般社団法人
『こうち絆ファーム』TEAMあき
農福連携研究会
就労支援専門部会
色々な機関に協力して頂き
開所することができました。

こうち絆ファーム 「TEAMあき」とは

(事業内容)

定員B型30名 + 移行6名

現在53名登録

(作業内容)



○25件の農家からナスを集めて袋に詰める

1箱200円、出来高制

○農閑期はオクラの収穫と袋詰め

○R2. 9からハウスの栽培開始



☆ミ法（農）福連携☆ミ (法務省と福祉の連携)

保護観察所との連携

弁護士との連携

検事との連携

刑務所との連携





商店街活性化へ農福商工連携へ



高校生も入って話し合い



人気のキッチンカー



前日に収穫した大量のナス



507名が参加



農・林・商・福連携

安芸本町商店街

第1回 軽トラマルシェ

日時 令和4年 6月26日 (日) 11時～15時 (小雨決行)

場所 安芸本町商店街 事務所 TEAMあき駐車場

(スマホの画面で検索はコチラ) 住所: 安芸市本町3丁目10-35

軽トラ山積み
ナス詰め放題 (100円)
11時30分 13時30分

キッチンカーも来るよ!
・土佐焼き
・KIRARI(クレープ、スイーツ)
・K FOOD KITCHEN (フレーバーサンド、ローストビーフ丼など)
★ナスやおじやこ、地元を使った空挺スペシャルメニューも!

CREPE

土佐焼质屋のおいしいさ姫庵!
野菜BBQで一般的な质と食べくらべが体験できます (土佐焼质屋)

ほかにも「安芸のおいしいもの」あります
○ナス餃子、ナスとおじやこのかき揚げ (J.A女性部)
○しいたけ饅頭 (小松聰さん)
○ナス焼きそば、コーヒー
(安芸本町商店街振興組合、カフェハマカラ)
○すっぽんスープの試食販売
(すっぽんラーメンの光輝安芸店)

【お問合せ】
安芸本町商店街振興組合 事務所 0887-36-3053

お車は、TOKYU CAR PARKをご利用ください
お車をご利用ください

主催: 安芸本町商店街「軽トラマルシェ」実行委員会

R5. 7. 26 仏福連携（自殺予防）が始まる

○地域の居場所として

- ・写経
- ・読経
- ・掃除
- ・自由に過ごす



地域の相談場所として



R5. 2. 1

ロータリークラブでの話題提供で
農福連携を説明。

清水寺の住職から声が…

仏福連携やりましょう！

自殺防止は寺院、住職、僧侶
にも出来る！

生きづらさに寄り添う！

まずは「ここからネット」に参加

これからの課題と方向性



○課題

農業以外の職種との連携(産福連携)

地域全体への生きづらさ理解の促進

○方向性

生きづらさ理解の勉強会の開催

ちいはなことからコツコツ始める



農業から見た農福連携の効果

農福連携に取り組んでいる農家の声

～多くの農家が語っていたこと～

●生きづらさを抱える人が農業を通じて成長し、変わっていくことを見るとうれしい。

- あいさつができるようになった
 - 毎日遅れず出勤するようになった
 - おしゃべりするようになった
- など



当たり前のことでも、当事者にとっては大きな大きな成長

福祉からみた農福連携の効果

- 農業は「生きづらさ」を抱えている人達の特性にマッチし、気づいた時に**労働力**となり副産物的に**人手不足の解消**にもなった。
- 働くことで**社会的役割**を持てた！
- 農業は「生きづらさを抱えた人たち」の**居場所**である！



安芸版農・林・水・商・法・仏・福連携ケアシステム

誰もが安心して自分らしく暮らせるまち=地域づくり



ここから東部地域ネットワーク会議（自殺予防ネットワーク）・自殺未遂者相談支援事業